

文化講演会／東国古代学の会共催

「古代大井駅を探る」

期 間 平成 21 年 6 月 13 日（土） 午後 1 時 30 分～午後 4 時
会 場 講堂
受講者数 91 名

〔講座内容〕

古代大井駅はどこにあったのか。研究の最先端からその謎にせまった。

開催趣旨

講 師：坂詰 秀一（品川歴史館館長）

「古代東海道の大井駅を考える」

講 師：森田 悌（群馬大学名誉教授）

「古代道路遺跡の調査」

講 師：早川 泉（道路文化研究所）

「東京の古代道路－遺跡から古代大井駅を探る－」

講 師：松原 典明（立正大学講師）

文化講演会

「幕末『開国』の歴史的意義」

日 時 平成 21 年 12 月 6 日（土） 午後 2 時～午後 4 時
会 場 講堂
受講者数 81 名

〔事業目的〕

区民に、歴史・考古・国文学の専門家の話を聞く機会を提供し、あわせて品川歴史館の事業を広く一般に知らせることを目的として開催する。

〔講座内容〕

幕末日本における黒船来航から開国までの歴史を情報史の観点から探った。

講 師：岩下 哲典（明海大学教授）